

医 第 1 0 6 3 - 5 号
平成 2 8 年 1 0 月 5 日

一般社団法人埼玉県医師会会長
一般社団法人埼玉県歯科医師会会長
一般社団法人埼玉県薬剤師会会長
一般社団法人埼玉県病院薬剤師会会長

} 様

埼玉県保健医療部長 三田 一夫
(公印省略)

医療パンフレットの周知について(依頼)

本県の保健医療行政の推進につきまして、日頃から格別の御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記の件について、別添のとおり平成28年9月26日付け埼聴協第2016-042にて一般社団法人埼玉県聴覚障害者協会から通知がありました。

つきましては、平成28年4月より障害者差別解消法が施行され、医療機関や薬局等にも障害者差別の禁止、合理的配慮の提供が求められていることも鑑み、御多忙のところ誠に恐縮ですが、貴会会員へ下記パンフレットを周知いただきますよう、お願い申し上げます。

記

【医療パンフレット】

<http://sai-deaf.org/wp-content/uploads/2016/04/7d445db9bfd2a6019eb168bd15ed4b3a.pdf>

(一般社団法人埼玉県聴覚障害者協会ホームページのトップページからも閲覧できます。)

担 当 医務担当 森安
電 話 048-830-3539
FAX 048-830-4802
E-Mail a3530-03@pref.saitama.lg.jp

埼聴協第 2016-042 号

平成 28 年 9 月 26 日

埼玉県保健医療部長様

一般社団法人埼玉県聴覚障害者協会
代表理事 小出真一郎



医療パンフレットの送付と周知のお願いについて

拝啓 時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃は、本会の活動にご支援、ご協力を賜りありがとうございます。

さて、本会では、埼玉県手話通訳問題研究会医療プロジェクトチームとともに、医療機関等に聴覚障害者への理解を広めていく取り組みを進めてまいりました。

2016 年 4 月より障害者差別解消法が施行され、医療機関にも障害者差別の禁止、合理的配慮の提供が求められることとなりました。

そこで、このたび聴覚障害者への配慮について医療機関・薬局の皆さまにご理解いただくためのパンフレットを作成いたしましたので送付いたします。ぜひ県内の各医療機関・各薬局で活用していただきたく、本パンフレットの周知について格段のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、「さいたま市」、「川越市」、「越谷市」内の各医療機関・各薬局につきましては、埼玉県より各市にご連絡くださいますよう、お願いいたします。

敬具

【医療パンフレット URL】

<http://sai-deaf.org/wp-content/uploads/2016/04/7d445db9bfd2a6019eb168bd15ed4b3a.pdf>

(※埼玉県聴覚障害者協会ホームページのトップページより閲覧できます。)

- ・パンフレットは A4 サイズ（両面）です。
- ・山折り線、谷折り線に合わせて折ってください。A6 サイズになります。

連絡先 一般社団法人埼玉県聴覚障害者協会
〒330-8522 埼玉県さいたま市浦和区大原 3-10-1

埼玉県障害者交流センター内

FAX:048-825-0774

TEL:048-824-5277

担当 福祉労働委員会 速水千穂

hayaminchi@mtj.biglobe.ne.jp



聴覚に障害を持つ人 と 医療現場で働く人 の コミュニケーション を 円滑にするために

一般社団法人埼玉県聴覚障害者協会
福祉・労働委員会

埼玉県手話通訳問題研究会
医療プロジェクト

お問合せ先

一般社団法人埼玉県聴覚障害者協会 福祉・労働委員会
FAX 048-825-0774 TEL 048-824-5277
Homepage <http://sai-deaf.org/>

埼玉県手話通訳問題研究会 医療プロジェクト
TEL&FAX 049-295-5214

詳しく知りたい方は下記を参考にしてください。

- ・一般財団法人全日本ろうあ連盟
<http://www.jfd.or.jp/>
- ・一般社団法人全国手話通訳問題研究会
<http://www.zentsuken.net/>
- ・聴覚障害者のための放射線部門に
おけるガイドライン(公益社団法人日
本診療放射線技師会)
- ・書籍：医療の手話シリーズ
(1) (2) (3) (別冊)
発行：一般財団法人全日本ろうあ連盟

(① やま 折り)

- 聴覚障害者一人ひとりに合ったコミュニケーション方法を見つけ、どの部署でも対応できるように。
- 受診している聴覚障害者本人に話しかけてください。
- 検査や手術など重要な説明がある時は手話通訳・要約筆記の依頼を勧めてください。
- 聴覚障害者が安心して主体的に医療を受けられるように配慮をお願いします。



埼玉県内の自治体では手話通訳者と要約筆記者の派遣をおこなっています。詳しくは自治体のパンフレットをご覧ください。また自治体にお問い合わせください。

聴覚障害者とのコミュニケーション支援

分らないでも分かったふりをする理由)聞き返さない 周りに合わせるコミュニケーションに時間がかかる あきらめ 面倒など

●聴覚障害者の傾向

手話 筆談 空書き 口話 身振り
組み合わせたり 使い分けたりする

●コミュニケーション方法

補聴器、人工内耳でも完全に聞こえる訳ではありません。



「ろう」～「軽度難聴」
生まれてから聞こえない人 進行中の人
聞こえに変動がある人 片耳が聞こえない人
補聴器使用の人 人工内耳の人

●聞こえの程度、状況はそれぞれ

聴覚障害について

(② た に 折 り)



実践!! すぐに役立つ対応例

受付・呼出



バイブ(振動)機能付きの呼び出し器具を貸し出す。
近くに行って目を合わせてから声をかける。

マスク



口の動きも言葉を読み取る補助になるので、マスクを下げて、口をはっきり開けてゆっくり話す。

診察室



パソコンの画面を見たままの説明は、口の形や表情が読み取れず、不安になる。時々顔を見て話しかける。

眼科の検査・レントゲン撮影など



事前に説明したり、合図を決めたりする。

- ・ ジェスチャーや肩をたたくなど体の一部にふれる。
- ・ 簡単な文字や絵をカードに書いて示す。
- ・ ライト(光)で伝える。

家族・通訳が同行



説明や質問は受診している本人に話しかける。

専門用語・難しい説明



模型・写真・絵などの視覚的な情報を併用する。

- ・ 骨や歯の模型、ペインスケール(痛みの程度を表す図)など

抽象的な言葉



具体的な言い方にする。

- ・ 症状の度合い: 時々、しばしば→何時間おき、1日何回
- ・ 時間の経過: しばらく、数日→具体的な時間、日にち

予約・問い合わせ



ファックス・メールでの対応をする。

筆談のコツ

- 具体的で簡単な文にする。
- 読みやすい字で書く。
- ひらがなだけでなく、漢字も入れた方が分かる。
- 病名、専門用語など難しい漢字にはルビをふる。
- 文章だけでなく絵(イラスト)を使う。

